

ワクチンとアレルギー（1）

多くの感染症を予防する重要な手段としてワクチン（予防接種）が次々と開発され、子どもや大人の健康を守ってきました。麻疹ワクチンがまだ無かった頃、麻疹は恐怖でした。年間 300 人以上の子どもたちが命を落としていましたが、定期接種になってからは、ほとんど麻疹を見ることは無くなりました。DPT（ジフテリア、百日咳、破傷風）ワクチンや日本脳炎ワクチンの重篤な副反応のため一時、接種の見合わせもありました。最近では子宮頸がんワクチンに重篤な副反応が出て、検討が続けられています。MMR（麻疹、おたふくかぜ、風疹）ワクチンのように副反応が強く、廃止になったワクチンもあります。私のところで問題になるのはワクチンのアレルギーについてです。どのワクチンにも、ワクチンの成分にアナフィラキシーを起こしたことがある者は接種不相当者と書いてあります。ならば、アナフィラキシーを起こしたことがなくても、その成分が注射で入ればアナフィラキシーを起こす可能性が大きいなら、ワクチン接種をやめるか、延期するしかありません。

次にワクチンごとにその成分を見てみましょう。

| | |
|----------------------|---|
| アクトヒブ | ウシ、羽毛、ウマ、ブタ 白糖、PH 調節剤 |
| プレベナー13 | ウシ乳、ヒツジ、ポリソルベート 80 コハク酸、リン酸アルミニウム、PH 調節剤 |
| 4 種混合 (テトラビック) | サル、ウシ、乳糖、牛乳、牛肉、ヒツジ毛、ブタ、ウマ ホルマリン、エデト酸ナトリウム、水酸化アルミゲル |
| MR（麻疹、風疹） (生ワクチン) | ニワトリ胚、ウズラ胚、ウサギ、ウシ、ブタ、 乳糖、D-ソルビトール、L-グルタミン酸ナトリウム、 カナマイシン、エリスロマイシン、フェノールレッド |
| おたふくかぜ | ニワトリ、ウシ、ブタ、牛乳 乳糖、D-ソルビトール、L-グルタミン酸ナトリウム、 カナマイシン、エリスロマイシン |
| 水痘 | ウシ、ブタ、白糖、L-グルタミン酸ナトリウム カナマイシン、エリスロマイシン |

詳しく見ますと、食物アレルギーを持つ子どもさんは、ワクチンを受けられないのでは、と思ってしまうかもしれませんが、すべて極微量のため、アレルギーの程度と体調をチェックしながら接種できる時を待ちます。リスクがあっても自然に感染したいという希望を持っておられる方もいますが、ワクチンの普及によりその病気に罹るべき適時に感染することができず、大きくなって感染し重症化することもあります。病気になることにより得られるプラスの要素もあると思いますが、メリットの多いワクチン医療の大きな流れを止めることはできません。その他のワクチン、同時接種については、次号にします。